



楽しく元気にペタンクで親睦

平成 25 年度柳川市民ペタンク大会

市民三橋グラウンドで6月19日、柳川市民ペタンク大会が開催されました。ペタンクは、生涯スポーツとして親しまれるフランス発祥の球技。今年で4回目の大会に市内の各地区から56チーム、194人が参加しました。予選リーグは14ブロックに分かれて実施。各ブロックで1位のチームが決勝トーナメントに進み、白熱した試合で優勝を競いました。結果は、優勝が諸藤D、準優勝に宮上C、3位に東宮永Cと両開Cが入りました。

敵も味方も金属製のボールの行方を見守った

多彩な仮装姿でドッジボール

ハリウッドワールド美容専門学校 球技大会

生徒同士の交流を深めようと6月26日、ハリウッドワールド美容専門学校は市民体育館で球技大会を催しました。大会は、生徒が多彩な仮装姿で参加する同校の恒例行事。メイドや要人警備の隊員など、さまざまな姿に仮装した398人は、クラス対抗のドッジボールを行いました。テレビドラマの刑事をイメージしたという学生は、スーツにサングラスやカツラなどを身につけた姿で参加。「暑いけど楽しかった」と笑顔で話しました。



投げても衣装がじゃまして力が入らない

市民のひろば

身近な話題などお知らせください！
情報をお待ちしています

田植え体験で顔までどろんこ

有明小学校・宇土保育園が田植え



泥の感触に歓声を上げる子どもたち

有明小学校と宇土保育園は6月28日、同校近くの田んぼで田植えを行いました。これは、子どもたちに農業の大変さや食べ物の大切さを学んでもらおうと毎年開催。児童と園児合わせて53人が参加しました。植え方などの説明を聞いた子どもたちは、泥の感触に歓声を上げながら田んぼの中へ。慣れない足元に悪戦苦闘しながらも、一列に並んで少しずつもち米の苗を植えていきました。初めて田んぼに入った園児は「足が冷たい。思ったより難しかったけど楽しかった」と話していました。

ネット際で女性たちが火花

分団対抗一般女子ソフトバレーボール大会

柳河公民館の分団対抗一般女子ソフトバレーボール大会が6月23日、市民体育館で催されました。柳河校区に住む女性の健康づくりと親睦を深めるために毎年開催。8つの分団から2チームずつの計16チーム、約130人が参加しました。この日のために練習を重ねた参加者は、チームメイトや家族の声援を受けながら、はつらつとしたプレーで熱戦を繰り広げました。今回は、決勝が6分団同士となったので、試合はせずに6分団が優勝と準優勝に。3位には5分団Aが入りました。



ネットの上のボールは果たしてどちらのコートへ

ボランティア活動って楽しいね

大和公民館「なんでんお助け隊」入隊式

大和公民館で6月23日、なんでんお助け隊の入隊式がありました。同隊は、子どもたちに体験活動を通して、ボランティア活動に興味を持ってもらおうと平成15年に結成。今年度は小学4年生から中学3年生までの12人が入隊しました。隊員証を交付された隊員たちは、今年度の活動を計画。第1回の活動として、同公民館の玄関に飾るプランターに花の苗を植えました。隊長になった大和中学校2年の佐藤由梨さんは「みんなで協力して頑張っていきたい」と話しました。



プランターに苗を植えるなんでんお助け隊の隊員

俳句

◆ 鮭五郎おどけ目玉ではいまわり

今月の入選作品：課題「鮭五郎」「紫陽花」
応募総数115句
田中清美（中島）

- | | | |
|-----------------|-------|--------|
| 鮭五郎瀉に跳び跳ねプロポーズ | 内田初男 | (有明町) |
| 紫陽花を傘で叩いて駆け出す子 | 中原由美 | (新船津町) |
| 紫陽花の色がよく合う異人館 | 田中與志子 | (六合) |
| 紫陽花のゆらりと重き今日の雨 | 古賀幸子 | (横山町) |
| 紫陽花のトリエ包む夕かな | 後藤正毅 | (金納) |
| むつごろう癒しを背負い瀉に飛ぶ | 谷 祥子 | (柳町) |
| 雨後の紫陽花の径避けにけり | 黒田和代 | (吉富町) |
| 蠢ける見飽かぬ干瀉鮭五郎 | 古賀 強 | (吉原) |
| 三度行く中中あえぬ鮭五郎 | 高崎登美雄 | (間) |
| あじさいの家族写真に収まりぬ | 梅崎三和子 | (田脇) |
| くし刺しの鮭五郎の目やぶにらみ | 森永孝英 | (七ツ家) |
| 鮭五郎干瀉の中でかくれんぼ | 境 幸代 | (西浜武) |
| 人生も仲良く丸く濃アジサイ | 田中眞智子 | (西浜武) |
| あじさいのほのかにおうたすまい | 萩尾法子 | (七ツ家) |
| 瀉に跳ね瀉に恋して鮭五郎 | 松本 操 | (吉原) |
| 紫陽花や舟のとどまる裏屋敷 | 古賀俊郎 | (新外町) |
| 紫陽花の固まり合つて競い咲き | 池田美幸 | (佃町) |
| 背鱗立て干瀉飛び跳ね鮭の恋 | 中原由美子 | (百町) |
| | 甲斐田園一 | (吉富町) |
- 【句評】 昭代干拓の地先の荒籠には、大きな農業施設の排水口があり、それを利用した船着場を見ることが出来ます。隣り合 わせに鮭の瀉が広がり、吟行地として得がたいところでもあり ます。最近になり鮭の飛び交う瀉に異変が起きているように見 えました。瀉の色が変わり、鮭に元気がないようでした。
- ◆ 選者の句
今月の清美さんの句。中七に鮭の生き様、表情が描かれ楽し める句に。
- ◆ 俳句の遠く影置く鮭の瀉
鬼郎

◆ 選者の句
俳句を募集しています。選考者は大曲鬼郎さん。8月の課題は「凌霄花」「茅の輪」です。入選作品は8月15日号に掲載します。

◆ 応募方法
俳句と明記し、自作、未発表の作品(※1人3句以内)に、住所、氏名、電話番号を書いて、ハガキかファクスまたは直接、柳川庁舎企画課広報聴係(☎77・8425、FAX 74・5520)へ、7月31日(※必着)までにお送りください。